

有明工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語コミュニケーションB	
科目基礎情報							
科目番号	3Z007-5			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科(情報システムコース)			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	授業プリント 高校英語 Harmony (いいずな書店) Date Base 3000 3rd Edition (桐原書店) ALC Net Academy NEXT (株アルク)						
担当教員	山崎 英司,村端 啓介						
到達目標							
到達目標 1.情報や考えなど”について、英語で”話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”きる。 情報や考えなど”について理解し、英語で”簡潔に書くことか”で”きる。 2.英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。 英語を読んで”、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。 3.英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を理解しているとともに、言語の背景にある文化を理解している。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	情報や考えなど”について、英語で”話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”きる。 情報や考えなど”について理解し、英語で”書いて”説明したりで”きる。			情報や考えなど”について、英語で”話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”きる。 情報や考えなど”について日本語を交えつつ英語で”説明で”きる。		情報や考えなど”について、英語で”話し合ったり意見の交換をしたりすることか”で”き ない。 情報や考えなど”について説明で”き ない。	
評価項目2	英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。 英語を読んで”、情報や考えなど”を説明したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。			英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”きる。 英語を読んで”、情報や考えなど”を説明で”きる。		英語を聞いて、情報や考えなど”を理解したり、概要や要点を捉えたりすることか”で”き ない。 英語を読んで”、情報や考えなど”を説明で”き ない。	
評価項目3	英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を把握するとともに、言語の背景にある文化を説明で”きる。			英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を説明で”きる。		英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなど”を説明で”き ない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3							
教育方法等							
概要	この講義はTOEIC L&Rテスト受験への橋渡しの役割を果たすTOEIC Bridgeテストにおいて高いスコアを獲得し、4年次のTOEIC L&Rテスト受験に必須である英単語語彙の増強と高校英語までの英文法の総復習を行うことを目的とした習熟度別授業である。国際感覚を備えた技術者となるためには、英語によるコミュニケーション能力は必要不可欠なものである。そしてその能力は現在ではTOEICスコアにより計測されることが極めて多い。有明高専においてはこのTOEICスコアにおけるReadingパートの低スコア問題を抱えている学生が極めて多い。そこでこの科目においては習熟度別授業および、学期中の配属グループの入れ替えを行うことによって、学生の現時点での実力に見合ったレベルでの授業を行う。同じレベルの少人数クラスによる授業を実施することで、学生同士のコミュニケーションも活性化し、グループの入れ替えにより緊張感を持った授業を行うことができると考えている。						
授業の進め方・方法	各授業コマを「英単語パート」「文法パート」「リスニングパート」に分割し、異なる2つの少人数グループにクラスを分けて、英単語語彙力アップと文法問題の理解を目的とした反復練習を行う。文法パートについては自身が選んだ盛会についてその理由を発表させたり評価する機会も設ける。						
注意点	評価方法: 各中間試験の成績や課題試験、期末試験時に行うTOEIC Bridgeテストの成績60%、授業中の課題や提出物の完成度や小テストへの取り組み 40%の比率で”評価。なおTOEIC Bridgeテストや中間試験は実力テストのため、適切に加工したスコアを成績として用いる。課題試験・中間試験・期末試験は全て同じウェイトで扱うものとする。 評価基準: 60点						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス 単語パート	・ 授業の概要について理解し、移動教室と自分の所属グループ、学習のルーティンを理解できる。 ・ 以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ: 単語帳Lv2の語彙 Bグループ: 単語帳Lv1の語彙			
		2週	各グループごとの教室での学習 単語パート・文法パート・リスニングパート	・ 以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ: 単語帳Lv2の語彙・リスニング問題(中級)・文法項目(品詞の区別) Bグループ: 単語帳Lv1の語彙・リスニング問題(初級)・文法項目(品詞の区別)			
		3週	各グループごとの教室での学習 単語パート・文法パート・リスニングパート	・ 以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ: 単語帳Lv2の語彙・リスニング問題(中級)・文法項目(動詞) Bグループ: 単語帳Lv1の語彙・リスニング問題(初級)・文法項目(動詞)			

		4週	各グループごとの教室での学習 単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（助動詞） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（助動詞）
		5週	各グループごとの教室での学習 単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（動名詞） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（動名詞）
		6週	各グループごとの教室での学習 単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（不定詞の各用法） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（不定詞の各用法）
		7週	各グループごとの教室での学習 単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（分詞の各用法） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（分詞の各用法）
		8週	前期中間試験	授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。
	2ndQ	9週	試験返却 新たなグループ分け 単語パート	・前期中間試験を振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。 ・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙 - Bグループ：単語帳Lv1の語彙
		10週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（比較表現） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（比較表現）
		11週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（関係代名詞） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（関係代名詞）
		12週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（関係副詞・前置詞を伴う関係代名詞） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（関係副詞・前置詞を伴う関係代名詞）
		13週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（前置詞） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（前置詞）
		14週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（接続詞・ディスコースマーカー） - Bグループ：単語帳Lv1の語彙・リスニング問題（初級）・文法項目（接続詞・ディスコースマーカー）
		15週	TOEIC Bridge Test （1回目）	授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。
		16週	TOEIC Bridge Test 返却 単語パート	・TOEIC Bridge TESTを振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。 ・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv2の語彙 - Bグループ：単語帳Lv1の語彙
後期	3rdQ	1週	夏課題試験返却 新たなグループ分け 単語パート	・夏課題試験を振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。 ・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 - Aグループ：単語帳Lv3の語彙 - Bグループ：単語帳Lv2の語彙

		2週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（5文型と各語の役割） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（5文型と各語の役割）
		3週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（時制） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（時制）
		4週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（受動態） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（受動態）
		5週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（使役表現） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（使役表現）
		6週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（知覚動詞） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（知覚動詞）
		7週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（仮定法） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（仮定法）
		8週	後期中間試験	・授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。
	4thQ	9週	試験返却 新たなグループ分け 単語パート	・後期中間試験を振り返って、定着していない英単語・熟語・文法事項について復習し、知識の定着を図ることができる。 ・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙 Bグループ：単語帳Lv2の語彙
		10週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（口語表現） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（口語表現）
		11週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（熟語） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（熟語）
		12週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（接頭辞・接尾辞からの単語の意味の推測） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（接頭辞・接尾辞からの単語の意味の推測）
		13週	TOEIC Bridge Test（2回目）	・授業で学んだ知識を利用して、学習した内容を振り返りながら試験に取り組むことができる。
		14週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（複合関係詞・譲歩表現） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（複合関係詞・譲歩表現）
		15週	単語パート・文法パート・リスニングパート	・以下の指定されたグループごとの学習内容を理解できること。 Aグループ：単語帳Lv3の語彙・リスニング問題（上級）・文法項目（強調構文・倒置表現） Bグループ：単語帳Lv2の語彙・リスニング問題（中級）・文法項目（強調構文・倒置表現）
		16週	TOEIC Bridge Test 返却 TOEIC L&R Test についての解説	・これまでのTOEIC Bridge Test の自分の受験スコアの推移を把握できる。 ・来年度のTOEIC L&R Test の特徴とBridge Testとの違いを理解し、TOEIC L&R Test受験に向けて準備できるようになる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	後16
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	後16
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	前16
			英語運用能力向上のための学習	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	後12
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	後11
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	後11
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	後11

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0